

施策管理シート

【章】	5 安全安心な生活環境の整備
【基本目標】	子どもを犯罪や事故から守るとともに、子育て家庭が安心して外出できるよう、子育てバリアフリーを推進します。
【施策群名】	5-1 子どもの安全確保
【施策名】	501 子どもの安全確保 【重点施策】■
【現状と課題】	社会情勢の変化に伴い、犯罪被害の内容も多様化している中、地域の自主的な防犯活動が展開されています。 また、児童生徒を中心とした子どもたちが事故や犯罪に巻き込まれることがないよう、地域住民、学校、家庭、関係機関・団体等が連携・協力しながら、安全確保対策に努めています。 犯罪防止のためには、地域において地域内住民の相互交流や地域活動への主体的な参画による地域の活性化が必要です。 また、各学校における防犯対策のほか、通学路における防犯対策として、地域住民、警察等関係機関との更なる連携強化が必要です。
【施策の目標】	地域、学校、家庭が連携した児童生徒の安全確保対策を推進します。
【対応】	地域住民の自主的な防犯活動を支援するほか、行政と地域との連携強化策として、防犯に関する情報共有に努めるとともに、不審者等に関する情報提供を行います。 また、学校内の安全確保対策や子どもたちへの安全指導の充実を図ります。
【施策の目標指標】	<指標> ①児童生徒の交通事故(被害)件数 ②犯罪被害の前兆となるような不審者情報等の件数 <20年度実績値> ①児童生徒の交通事故(被害)件数 29件 ②秋田っ子まもるメール配信件数 13件 <26年度目標値> ①児童生徒の交通事故(被害)件数の減少 ②秋田っ子まもるメール配信件数の減少 ※秋田っ子まもるメール配信件数については、予防や啓発的な内容の件数を除く
【主管課所室】	701000 教育委員会 10学事課
【関係課所室】	生活総務課、学校教育課

取組・事業検証シート

【部局課所室】 151000 市民生活部 10生活総務課

【取組・事業No.】 5011 【取組・事業名】 まちあかり・ふれあい推進事業

【事業概要】 地域自治活動への助成および町内会で管理する防犯灯の電気料や灯具の交換補修に要する経費の一部を助成する。また、街を明るくし、夜間の安全な通行や犯罪の防止を図るため、町内会からの防犯灯設置要望に基づき、市が経費を負担し設置する。

【事業の目標】 地域に根ざした住民自治活動が促進されるよう支援します。また、街を明るくし、夜間の安全な通行や犯罪の防止を図ります。

【事業の目標指標】 <指標> ①自治活動助成件数 ②灯具交換・補修費助成件数 <20年度実績値> ①1,018件 ②27,981灯 <26年度目標値> ①1,019件 ②28,500灯

【関係HP】

【実施計画】

年度	事業費	目標指標の推移見込み	実施内容
■ 22	124,327 千円	①1,019件 ②28,331灯	地域自治活動及び防犯灯電気料や灯具交換補修費の一部を助成する。
■ 23	123,345 千円	①1,019件 ②28,483灯	地域自治活動及び防犯灯電気料や灯具交換補修費の一部を助成する。
■ 24	75,806 千円	①1,019件 ②28,500灯	地域自治活動及び防犯灯電気料の一部を助成する。また、町内会からの申請に基づき防犯灯を新設する。
■ 25	75,806 千円	①1,019件 ②28,500灯	地域自治活動及び防犯灯電気料の一部を助成する。また、町内会からの申請に基づき防犯灯を新設する。
■ 26	75,806 千円	①1,019件 ②28,500灯	地域自治活動及び防犯灯電気料の一部を助成する。また、町内会からの申請に基づき防犯灯を新設する。

【事業対象の区分】 子ども ☐ 若者 ☐ 妊婦 ☐ 産婦 ☐ 父親 ☐ 母親 ☐ 他の区分 ☒ ()
<子どもの対象年齢> 歳～ 歳

年度	予算	決算(見込み)	事業実績	課題・改善点・対応方針等
22	124,666千円	124,327千円	1,019町内会に対し活動助成金2,881万8千円、電気料助成金7,364万4千円、灯具助成金2,142万3千円、総額1億2,388万5千円の助成を行った。	23年度は助成金申請方法を簡略化し、町内会の負担軽減を図る。
23	123,345千円	千円		

取組・事業検証シート

【部局課所室】 151000 市民生活部 10生活総務課

【取組・事業No.】 5012 【取組・事業名】 町内防犯灯整備事業

【事業概要】 街を明るくし、夜間の安全な通行や犯罪の防止を図るため、町内会からの防犯灯設置要望に基づき、市が経費を負担し設置する。

【事業の目標】 街を明るくし、夜間の安全な通行や犯罪の防止を図ります。

【事業の目標指標】 <指標> 防犯灯設置件数 <20年度実績値> 27,981灯 <26年度目標値> 28,500灯

【関係HP】

【実施計画】

年度	事業費	目標指標の 推移見込み	実施内容
☒ 22	5,128 千円	170灯	町内会からの申請に基づき、防犯灯を設置する。
☐ 23	0 千円		まちあかり・ふれあい推進事業に統合。
☐ 24	0 千円		
☐ 25	0 千円		
☐ 26	0 千円		

【事業対象の区分】 子ども ☐ 若者 ☐ 妊婦 ☐ 産婦 ☐ 父親 ☐ 母親 ☐ 他の区分 ☒ ()
<子どもの対象年齢> 歳～ 歳

年度	予算	決算(見込み)	事業実績	課題・改善点・対応方針等
22	7,779千円	5,128千円	186灯の申請に対し、152灯を設置した(うち10灯は、東北電力からの寄贈によるもの)。	24年度に予定している既存防犯灯のLED化に伴い、新設においても省エネ・耐久性の高いLED灯具を採用する。
23	0千円	千円		

取組・事業検証シート

【部局課所室】 151000 市民生活部 10生活総務課

【取組・事業No.】 5013 【取組・事業名】 防犯・暴力団壊滅追放運動の推進

【事業概要】 防犯活動や暴力団壊滅追放運動を行う市民主体の組織、団体の活動を支援する。

【事業の目標】 安心、安全な地域づくりへの市民意識を向上させます。

【事業の目標指標】 <指標> 支援団体数 <20年度実績値> 3団体 <26年度目標値> 3団体

<http://www.police.pref.akita.jp/kenkei/toukei/index.html>

【関係HP】 http://www.city.akita.akita.jp/city/copr/ctcm_new/bouhan.htm

年度	事業費	目標指標の 推移見込み	実施内容
■ 22	996 千円	3団体	市内の防犯協会3団体に対し、防犯活動推進補助金を交付する。
■ 23	1,006 千円	3団体	市内の防犯協会3団体に対し、防犯活動推進補助金を交付する。
■ 24	1,006 千円	3団体	市内の防犯協会3団体に対し、防犯活動推進補助金を交付する。
■ 25	1,006 千円	3団体	市内の防犯協会3団体に対し、防犯活動推進補助金を交付する。
■ 26	1,006 千円	3団体	市内の防犯協会3団体に対し、防犯活動推進補助金を交付する。

【事業対象の区分】 子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分
☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☒ (防犯協会の会員等)
 <子どもの対象年齢> 歳～ 歳

年度	予算	決算(見込み)	事業実績	課題・改善点・対応方針等
22	996千円	996千円	防犯活動の実施	
23	1,006千円	千円		

取組・事業検証シート

【部局課所室】 701000 教育委員会 10学事課

【取組・事業No.】 5014 【取組・事業名】 秋田市立小学校警備事業

【事業概要】 小学生が安心して学校生活を送ることができるよう、市立小学校に警備員を各校1名配置し、各学校の実情に応じ、不審物、不審者等の対応を行う。

【事業の目標】 学校内における不審者等による犯罪の未然防止を図ります。

【事業の目標指標】 <指標> 市立小学校全校で警備の実施を継続する。 <20年度実績値> 全市立小学校47校 <26年度目標値> 全市立小学校で警備実施

【関係HP】

【実施計画】

年度	事業費	目標指標の 推移見込み	実施内容
■ 22	35,255 千円	100.0%	市立小学校45校で警備実施
■ 23	39,759 千円	100.0%	市立小学校45校で警備実施
■ 24	39,759 千円	100.0%	市立小学校45校で警備実施
■ 25	39,759 千円	100.0%	市立小学校45校で警備実施
■ 26	39,759 千円	100.0%	市立小学校45校で警備実施

【事業対象の区分】 子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分
☒ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ()
 <子どもの対象年齢> 7 歳～ 12 歳

年度	予算	決算(見込み)	事業実績	課題・改善点・対応方針等
22	40,011千円	35,255千円	市立小学校45校で常駐警備を実施した。	不審者等の侵入防止対策として、より効率的な安全対策の手法を検討していく必要がある。
23	39,759千円	千円		

取組・事業検証シート

【部局課所室】 701000 教育委員会 10学事課

【取組・事業No.】 5015 【取組・事業名】 秋田っ子まもるメールの配信

【事業概要】 児童生徒の登下校時の安全を確保するため、不審者に関する情報などを携帯電話や、パソコンにEメールで配信する。

【事業の目標】 不審者等の情報共有により、児童の犯罪被害の未然防止を図ります。

【事業の目標指標】 <指標> 児童生徒の関わる不審者等情報配信件数 <20年度実績値> 配信件数13件 <26年度目標値> 児童生徒の関わる不審者等情報配信件数の減少

【関係HP】 <http://www.city.akita.akita.jp/city/ed/sw/mamorumail.htm>

年度	事業費	目標指標の 推移見込み	実施内容
■ 22	0 千円	配信件数6件	秋田っ子まもるメールの配信
■ 23	0 千円	件数の減少	秋田っ子まもるメールの配信
■ 24	0 千円	件数の減少	秋田っ子まもるメールの配信
■ 25	0 千円	件数の減少	秋田っ子まもるメールの配信
■ 26	0 千円	件数の減少	秋田っ子まもるメールの配信

【事業対象の区分】 子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分
☒ ☐ ☐ ☐ ☒ ☒ ☒ (メール配信登録者)
 <子どもの対象年齢> 7 歳～ 15 歳

年度	予算	決算(見込み)	事業実績	課題・改善点・対応方針等
22	0千円	0千円	配信件数6件	
23	0千円	千円		

取組・事業検証シート

【部局課所室】 701000 教育委員会 10学事課

【取組・事業No.】 5016 【取組・事業名】 スクールガード養成講習会の実施

【事業概要】 市内の3警察署の管内毎にスクールガード養成講習会を実施する。

【事業の目標】 通学路における地域ぐるみでの児童生徒の安全を確保する意識の向上を図ります。

【事業の目標指標】 <指標> 参加者数 <20年度実績値> 216名 <26年度目標値> 220名

【関係HP】

【実施計画】

年度	事業費	目標指標の 推移見込み	実施内容
■ 22	0 千円	178名 80.9%	スクールガード養成講習会の実施
■ 23	0 千円	180名 81.8%	スクールガード養成講習会の実施
■ 24	0 千円	190名 86.4%	スクールガード養成講習会の実施
■ 25	0 千円	210名 95.5%	スクールガード養成講習会の実施
■ 26	0 千円	220名 100.0%	スクールガード養成講習会の実施

【事業対象の区分】 子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分
☐ ☐ ☐ ☐ ☒ ☒ ☒ (地域の関係団体)
 <子どもの対象年齢> 歳～ 歳

年度	予算	決算(見込み)	事業実績	課題・改善点・対応方針等
22	0千円	0千円	178名参加	通知日および開催日程を工夫するなどして参加しやすい講習会にする。
23	0千円	千円		

取組・事業検証シート

【部局課所室】 701000 教育委員会 10学事課

【取組・事業No.】 5017 【取組・事業名】 通学時における安全確保と適切な指導

【事業概要】 学校、PTA、地域の町内会、老人クラブなどで構成される安全対策委員会のパトロール活動などにより、安心して登下校できる環境づくりを進める。

【事業の目標】 通学路における地域ぐるみでの児童の安全の確保を推進します。

【事業の目標指標】 <指標> 安全対策委員会の人数 <20年度実績値> 9,294人 <26年度目標値> 10,000人

【関係HP】 <http://www.city.akita.akita.jp/city/ed/sw/katudounaiyou.htm>

年度	事業費	目標指標の 推移見込み	実施内容
■ 22	0 千円	8,992人 89.9%	通学路における児童の安全確保
■ 23	0 千円	10,000人 100.0%	通学路における児童の安全確保
■ 24	0 千円	10,000人 100.0%	通学路における児童の安全確保
■ 25	0 千円	10,000人 100.0%	通学路における児童の安全確保
■ 26	0 千円	10,000人 100.0%	通学路における児童の安全確保

【事業対象の区分】 子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分
☒ ☐ ☐ ☐ ☒ ☒ ☒ (地域の関係団体)
 <子どもの対象年齢> 7 歳 ~ 12 歳

年度	予算	決算(見込み)	事業実績	課題・改善点・対応方針等
22	0千円	0千円	8,992人	スクールガード養成講習会を通じて、児童活動への参加を呼びかけるなど、地域活動のさらなる活性化を図っていく必要がある。
23	0千円	千円		

取組・事業検証シート

【部局課所室】 701500 教育委員会 15学校教育課

【取組・事業No.】 5018 【取組・事業名】 被害を受けた子どもへの対応

【事業概要】 各校が、不審者被害を受けた子どもなどの心のケアを図るために、養護教諭を含めた校内教育相談体制を確立するとともに、緊急時の対応マニュアルを策定し、これに基づいて適切に対応・支援を行う。また、必要に応じて、臨床心理士等の専門家と連携して支援する。

【事業の目標】 校内教育相談体制を確立するとともに、事故発生時における対応マニュアルに基づいた迅速かつ組織的な対応により、被害を受けた児童生徒の心のケアに努めます。

【事業の目標指標】 <指標> 学校における事故発生時の対応マニュアルの整備・更新 <20年度実績値> 策定100%
<26年度目標値> 100%

【関係HP】

【実施計画】

年度	事業費	目標指標の 推移見込み	実施内容
■ 22	0 千円	100%	対応マニュアルおよび校内教育相談体制の確立
■ 23	0 千円	100%	対応マニュアルおよび校内教育相談体制の確立
■ 24	0 千円	100%	対応マニュアルおよび校内教育相談体制の確立
■ 25	0 千円	100%	対応マニュアルおよび校内教育相談体制の確立
■ 26	0 千円	100%	対応マニュアルおよび校内教育相談体制の確立

【事業対象の区分】 子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分
☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☒ (小中学校)
 <子どもの対象年齢> 歳～ 歳

年度	予算	決算(見込み)	事業実績	課題・改善点・対応方針等
22	0千円	0千円	各校の実情に応じて、すべての小中学校でマニュアルの整備と更新が行われている。	東日本大震災を踏まえ、地域の状況などに対応した緊急対応マニュアルの見直しを行う。
23	0千円	千円		

施策管理シート

【章】	5 安全安心な生活環境の整備
【基本目標】	子どもを犯罪や事故から守るとともに、子育て家庭が安心して外出できるよう、子育てバリアフリーを推進します。
【施策群名】	5-1 子どもの安全確保
【施策名】	502 子どもを災害から守るための取組 【重点施策】□
【現状と課題】	乳幼児および児童は、高齢者や身体障がい者などと同様に、災害時に適切な行動をとることが困難な災害時要援護者に位置づけられることから、災害発生時における安全かつ的確な対応が不可欠です。 現在、教育機関や施設に対し、防災意識の啓蒙や防災訓練の指導等を行っており、施設単位の避難訓練などを実施しています。 震災又はその他の災害において、被害を最小限に抑える体制（環境）整備がいまだ不十分であることから、災害に強い環境整備に努めるとともに、地域一体となった防災意識の高揚と協力体制の強化を図るため、学校・施設における防災教育の充実を図るとともに、防災訓練の拡充と地域防災活動への参加を進める必要があります。
【施策の目標】	子どもなどの災害時要援護者を災害から守るため地域内での連携、協働による市民一体となった災害に強い体制づくりを推進します。
【対応】	1 災害に強い施設の整備を図ります。 ・地震に備えた学校施設内外の環境整備（大型備品等の倒壊防止策） ・避難施設にもなる学校施設の耐震化の実施 2 防災訓練の拡充を図ります。 ・効果的な防災訓練の実施 ・総合防災訓練への参加 3 地域の防災活動への参加を進めます。 ・自主防災組織との連携
【施策の目標指標】	<指標> ①訓練参加人数（多くの人に、複数回参加してもらう） ②学校施設の耐震化率 <20年度実績値> ①13,323人 ②86% <26年度目標値> ①13,700人 ②100%
【主管課所室】	700500 教育委員会 05教委・総務課
【関係課所室】	防災安全対策課

取組・事業検証シート

【部局課所室】 015000 総務部 50防災安全対策課

【取組・事業No.】 5021 【取組・事業名】 各種防災訓練の拡充

【事業概要】

「県民防災の日」および「県民防災意識高揚強調週間」にちなみ教育機関に各種防災訓練の実施を呼びかける。
小学校を対象に積雪時での災害を想定した「雪国防災訓練」を行う。
秋田市総合防災訓練に小学生と町内会が協力して行う訓練を行い、防災意識の高揚を図る。

【事業の目標】

防災意識と防災技術の高揚に努めます。

【事業の目標指標】

＜指標＞ 多くの人に、複数回参加してもらう ＜20年度実績値＞ 参加人数13,323人 ＜26年度目標値＞ 参加人数13,700人

【関係HP】

【実施計画】

年度	事業費	目標指標の推移見込み	実施内容
■ 22	0 千円	参加人数290人	訓練内容の充実
■ 23	0 千円	参加人数13,550人	訓練内容の充実
■ 24	0 千円	参加人数13,600人	訓練内容の充実
■ 25	0 千円	参加人数13,650人	訓練内容の充実
■ 26	0 千円	参加人数13,700人	訓練内容の充実

【事業対象の区分】

子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分
☒ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ()
 ＜子どもの対象年齢＞ 6 歳～ 12 歳

年度	予算	決算(見込み)	事業実績	課題・改善点・対応方針等
22	0千円	0千円	放課後児童クラブにおいて、防災講座を行った。(さくら冒険王学童保育クラブ)	ビデオと紙芝居を使い、子どもが興味をひく工夫を行いながら災害の恐ろしさと自分で自分を守る事の大切さを伝えた。今後も、機会を捉えて子どもを対象に防災意識の高揚に務める。
23	0千円	千円		

取組・事業検証シート

【部局課所室】 700500 教育委員会 05教委・総務課

【取組・事業No.】 5022 【取組・事業名】 災害に強い学校施設の整備

【事業概要】 耐震診断の結果、要補強と診断された学校施設の耐震化を進める。

【事業の目標】 平成27年度までに全ての学校の耐震化を完了します。

【事業の目標指標】 <指標> 耐震化率 <20年度実績値> 約86% <26年度目標値> 100%

【関係HP】 <http://www.city.akita.akita.jp/city/ed/mn/default.htm>

年度	事業費	目標指標の 推移見込み	実施内容
■ 22	1,338,414 千円	91.0%	増改築、耐震補強
■ 23	1,237,143 千円	93.0%	増改築、大規模改造、耐震補強、既存施設解体
■ 24	1,070,122 千円	95.5%	増改築、大規模改造、耐震補強
■ 25	115,398 千円	97.2%	大規模改造、耐震補強
■ 26	196,344 千円	100.0%	大規模改造、耐震補強、既存施設解体

【事業対象の区分】 子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分
☒ ☒ ☒ ☒ ☒ ☒ ☒ (学校周辺住民)
 <子どもの対象年齢> 7 歳 ~ 15 歳

年度	予算	決算(見込み)	事業実績	課題・改善点・対応方針等
22	1,407,002千円	1,338,414千円	【耐震補強】牛島小学校体育館、戸米川小学校体育館 【増改築】岩見三内小学校校舎・体育館、土崎中学校校舎の一部	
23	1,237,143千円	千円		

施策管理シート

【章】 5 安全安心な生活環境の整備

【基本目標】 子どもを犯罪や事故から守るとともに、子育て家庭が安心して外出できるよう、子育てバリアフリーを推進します。

【施策群名】 5-1 子どもの安全確保

【施策名】 503 交通安全の普及・啓発 【重点施策】 ☐

【現状と課題】 全国および全県の傾向と同様に、本市の交通事故件数は減少に転じているものの、児童の交通事故も発生しており、更なる交通安全対策の強化が必要です。

【施策の目標】 子どもを交通事故から守るため交通事故防止および交通安全確保を図る。

【対応】 幼稚園・保育所を対象とした交通安全教室を実施するとともに交通安全指導者の指導力向上を図ります。交通安全教育を推進することにより、交通マナー・モラルの向上に努め、ひいては交通事故の減少を図ります。

【施策の目標指標】 <指標> ①交通安全教室開催回数 ②交通事故死者数 <20年度実績値> ①228回 ②8人
<26年度目標値> ①250回 ②減少

【主管課所室】 151000 市民生活部 10生活総務課

【関係課所室】

取組・事業検証シート

【部局課所室】 551600 都市整備部 00交通政策課

【取組・事業No.】 5031 【取組・事業名】 交通安全教育事業

【事業概要】 幼稚園・保育所を対象とした交通安全教室を実施するとともに交通安全指導者の指導力向上を図る。

【事業の目標】 交通安全教育を推進することにより、交通マナー・モラルの向上に努め、ひいては交通事故の減少を図ります。

【事業の目標指標】 <指標> 交通安全教室開催回数 <20年度実績値> 228回 <26年度目標値> 250回

【関係HP】 <http://www.city.akita.akita.jp/city/ct/mn/koutuu.htm>

年度	事業費	目標指標の 推移見込み	実施内容
■ 22	527 千円	244回	交通安全教室開催
■ 23	513 千円	235回	交通安全教室開催
■ 24	513 千円	240回	交通安全教室開催
■ 25	513 千円	245回	交通安全教室開催
■ 26	513 千円	250回	交通安全教室開催

【事業対象の区分】 子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分
☒ ☐ ☐ ☐ ☒ ☒ ☐ ()
 <子どもの対象年齢> 2 歳～ 6 歳

年度	予算	決算(見込み)	事業実績	課題・改善点・対応方針等
22	593千円	527千円	244回	幼児期からの交通安全教育が重要であり、担当者の育成や指導力向上にも努めるとともに、交通安全教室の内容や方法も工夫する必要がある。
23	513千円	千円		

取組・事業検証シート

【部局課所室】 551600 都市整備部 00交通政策課

【取組・事業No.】 5032 【取組・事業名】 交通安全普及・啓発事業

【事業概要】 季別毎の交通安全運動期間中のほか交通安全に関する広報・啓発活動を実施する。

【事業の目標】 子どもを交通事故から守るため交通事故防止および交通安全確保を図ります。

【事業の目標指標】 <指標> 交通事故死者数 <20年度実績値> 8人 <26年度目標値> 減少

【関係HP】 <http://www.city.akita.akita.jp/city/ct/mn/koutuu.htm>

【実施計画】

年度	事業費	目標指標の 推移見込み	実施内容
■ 22	2,340 千円	9人	交通安全に関するの広報・啓発活動
■ 23	2,374 千円	7人	交通安全に関するの広報・啓発活動
■ 24	2,374 千円	7人	交通安全に関するの広報・啓発活動
■ 25	2,374 千円	6人	交通安全に関するの広報・啓発活動
■ 26	2,374 千円	6人	交通安全に関するの広報・啓発活動

【事業対象の区分】 子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分
☒ ☒ ☒ ☒ ☒ ☒ ☐ ()
 <子どもの対象年齢> 0 歳 ~ 17 歳

年度	予算	決算(見込み)	事業実績	課題・改善点・対応方針等
22	2,885千円	2,340千円	9人	本市交通事故死者数の減少を図るため、更なる交通安全対策の強化が必要である。
23	2,374千円	千円		

施策管理シート

【章】	5 安全安心な生活環境の整備
【基本目標】	子どもを犯罪や事故から守るとともに、子育て家庭が安心して外出できるよう、子育てバリアフリーを推進します。
【施策群名】	5-2 子どもを取り巻く生活環境の整備
【施策名】	504 安全な歩行空間の確保 【重点施策】□
【現状と課題】	道路は、日常生活や経済活動を支えるうえで最も重要な公共施設であり、本市においても、子育てと関連する歩行者の安全確保や高齢社会に対応するバリアフリー化に取り組んでおり、様々な道路の利用形態、利用者を想定した道路整備を行っております。 子どもを含めた道路利用者の意見を反映して、歩道の段差・急勾配の解消や歩行空間の確保等、幅員・線形などにゆとりを持たせた道路づくりを進めていますが、まだ十分な整備とは言えず、歩道利用者の安全性・快適性・利便性の向上のために整備の促進が課題となっています。
【施策の目標】	すべての人が安心して快適に生活ができるようにバリアフリーの道路づくりを積極的に進めていきます。
【対応】	歩行空間を確保するため、歩道の新設、歩道の段差・急勾配の解消など既設歩道の改良をし、幅員・線形にゆとりを持たせた道路づくりをします。
【施策の目標指標】	＜指標＞ 歩道整備延長 ＜20年度実績値＞ L＝3,528m ＜26年度目標値＞ 5年間累計 L＝7,800m
【主管課所室】	452000 建設部 20道路建設課
【関係課所室】	道路維持課

取組・事業検証シート

【部局課所室】 452000 建設部 20道路建設課

【取組・事業No.】 5046 【取組・事業名】 人にやさしい歩道づくり事業

【事業概要】 妊産婦、子どもその他の歩行者を含む全ての人が安全かつ円滑な通行を確保するには、通行の支障となる段差や勾配を解消し、誰もが利用しやすい構造とする必要があるため、歩道の新設や既設歩道の改善等を行う。

【事業の目標】 安全で快適な歩行者空間の整備に努め、移動環境の向上を図ります。

【事業の目標指標】 <指標> 歩道整備延長 <20年度実績値> L=3,538m <26年度目標値> 5年間累計 L=7,800m

【関係HP】

【実施計画】

年度	事業費	目標指標の 推移見込み	実施内容
■ 22	523,429 千円	L=4,192m	歩道の新設・改良、既存歩道の段差・傾斜の解消
■ 23	193,000 千円	L=1,020m	歩道の新設・改良、既存歩道の段差・傾斜の解消
■ 24	254,000 千円	L=2,090m	歩道の新設・改良、既存歩道の段差・傾斜の解消
■ 25	141,000 千円	L=630m	歩道の新設・改良、既存歩道の段差・傾斜の解消
■ 26	342,000 千円	L=890m	歩道の新設・改良、既存歩道の段差・傾斜の解消

【事業対象の区分】 子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分
☒ ☒ ☒ ☒ ☒ ☒ ☐ ()
 <子どもの対象年齢> 0 歳～ 17 歳

年度	予算	決算(見込み)	事業実績	課題・改善点・対応方針等
22	538,700千円	523,429千円	歩道整備等 L=4,192m	歩行者の安全で快適な歩行空間の向上のため、歩道新設および段差等の解消が引き続き課題であることから、整備の促進に努める
23	193,000千円	千円	歩道整備等 L=1,020m	

施策管理シート

【章】	5 安全安心な生活環境の整備
【基本目標】	子どもを犯罪や事故から守るとともに、子育て家庭が安心して外出できるよう、子育てバリアフリーを推進します。
【施策群名】	5-2 子どもを取り巻く生活環境の整備
【施策名】	505 公共施設等のバリアフリー化の促進 【重点施策】□
【現状と課題】	少子・高齢社会の進展や市民の社会参加の機会拡大等に伴い、これからのまちづくりには、妊産婦の方々をはじめ、子どもや高齢者、障がい者等もより安全で快適に暮らすことができるよう、生活環境の向上を図ることが求められています。 現在、道路等の都市施設の整備や建築物の建築に際しては、歩道の段差解消や移動のしやすさの確保等が改善されつつありますが、その整備水準は十分とはいえません。 今後も、まちの中にある様々な障害を除去し、誰もが安全・快適に行きたいところへ行けるように、バリアフリーによるまちづくりの推進が必要です。
【施策の目標】	本市のまちづくりの指針の「第5次秋田市総合都市計画」に基づき、その目標の一つである「優しさと安全・安心で文化的な生活環境づくり」を達成するため、誰もが安全かつ安心して生活することができる環境づくりをめざし、バリアフリー化を推進します。
【対応】	本市のまちづくりの指針の「第5次秋田市総合都市計画」に基づき、その目標の一つである「優しさと安全・安心で文化的な生活環境づくり」を達成するため、誰もが安全かつ安心して生活することができる環境づくりをめざし、公共施設等のバリアフリー化を推進します。 ①地域コミュニティの中心や公共施設、道路等において、段差の解消等 バリアフリーにより、人に優しい環境整備を推進します。 ②多くの市民等が行き交う秋田駅周辺の中心市街地や土崎駅周辺においては、歩道融雪等、安全で快適な歩行者空間の整備とネットワーク化 を図ります。
【施策の目標指標】	<指標> 公共施設等のバリアフリー化の推進 <20年度実績値> 重点整備地区2地区 <26年度目標値> 平成22年度に検討することとしている。
【主管課所室】	551500 都市整備部 15都市計画課
【関係課所室】	子ども総務課、建築指導課、公園課

取組・事業検証シート

【部局課所室】 457000 建設部 35公園課

【取組・事業No.】 5051 【取組・事業名】 公園のバリアフリー化

【事業概要】 高齢者、障がい者等の移動等の円滑化の促進に関する法律を受けて、国による都市公園のバリアフリー改修への補助制度を活用し、市内における公園のバリアフリー化を進める。
(都市公園バリアフリー化事業および緑化重点地区整備事業)

【事業の目標】 都市公園のバリアフリー化を進める。

【事業の目標指標】 <指標> 園路・広場のバリアフリー化 <20年度実績値> 80か所 <26年度目標値> 97か所

【関係HP】

【実施計画】

年度	事業費	目標指標の 推移見込み	実施内容
■ 22	56,589 千円	88か所	園路・広場のバリアフリー化改修
■ 23	86,154 千円	92か所	園路・広場・トイレのバリアフリー化改修
■ 24	90,800 千円	97か所	園路・広場・トイレのバリアフリー化改修
■ 25	40,000 千円	97か所	園路のバリアフリー化改修
■ 26	40,000 千円	100か所	園路・広場のバリアフリー化改修

【事業対象の区分】 子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分
☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☒ (すべての年代)
 <子どもの対象年齢> 歳～ 歳

年度	予算	決算(見込み)	事業実績	課題・改善点・対応方針等
22	51,000千円	56,589千円	手形、保戸野、田尻沢第一、田尻沢第二の計4か所の街区公園をバリアフリー化を実施した。	
23	86,154千円	千円		

取組・事業検証シート

【部局課所室】 457000 建設部 35公園課

【取組・事業No.】 5052 【取組・事業名】 公園遊具施設長寿命化等整備事業

【事業概要】 公園利用者の安全確保を図るため、老朽化した遊具の更新及び予防修繕を実施する。

【事業の目標】 老朽化した遊具の更新及び予防修繕を進める。

【事業の目標指標】 <指標> 遊具更新・予防修繕基数 <20年度実績値> 0基 <26年度目標値> 883基

【関係HP】

【実施計画】

年度	事業費	目標指標の 推移見込み	実施内容
■ 22	27,982 千円	遊具更新41基、予 防修繕91基	老朽化した遊具の更新及び塗装等の予防修繕
■ 23	33,150 千円	遊具更新74基	老朽化した遊具の更新
■ 24	36,810 千円	遊具更新61基、予 防修繕79基	老朽化した遊具の更新及び塗装等の予防修繕
■ 25	38,710 千円	遊具更新70基、予 防修繕76基	老朽化した遊具の更新及び塗装等の予防修繕
■ 26	30,150 千円	遊具更新30基、予 防修繕70基	老朽化した遊具の更新及び塗装等の予防修繕

【事業対象の区分】 子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分
☒ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ()
 <子どもの対象年齢> 3 歳～ 12 歳

年度	予算	決算(見込み)	事業実績	課題・改善点・対応方針等
22	30,310千円	27,982千円	遊具更新41基、予防修繕 91基	
23	33,150千円	千円		

取組・事業検証シート

【部局課所室】 551500 都市整備部 15都市計画課

【取組・事業No.】 5053 【取組・事業名】 駅周辺地区等のバリアフリー化

【事業概要】

これまで「秋田市交通バリアフリー基本構想」に基づき、重点的に行ってきた駅周辺地区におけるバリアフリー化の推進を継続して行っていくため、新たに「秋田市バリアフリー基本構想」を策定し、駅周辺地区等におけるバリアフリー化を推進する。
特定事業は、各事業管理者で定める特定事業計画に沿って実施される。

【事業の目標】

誰もが安全かつ安心して生活することができる環境づくりをめざし、バリアフリー化を推進します。

【事業の目標指標】

＜指標＞ 公共施設等のバリアフリー化の推進 重点整備地区3地区
＜20年度実績値＞ 重点整備地区2地区 重点整備地区3地区
＜26年度目標値＞ 重点整備地区3地区

【関係HP】

<http://www.city.akita.akita.jp/city/ur/im/kikaku/koutuu-BF/bfkihonkousou/default.htm>

【実施計画】

年度	事業費	目標指標の推移見込み	実施内容
■ 22	0 千円		
■ 23	0 千円	重点整備地区3地	土崎駅周辺地区、新屋駅周辺地区、市立病院・山王官公庁周辺地区
■ 24	0 千円	重点整備地区3地	土崎駅周辺地区、新屋駅周辺地区、市立病院・山王官公庁周辺地区
■ 25	0 千円	重点整備地区3地	土崎駅周辺地区、新屋駅周辺地区、市立病院・山王官公庁周辺地区
■ 26	0 千円	重点整備地区3地	土崎駅周辺地区、新屋駅周辺地区、市立病院・山王官公庁周辺地区

【事業対象の区分】

子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分
☒ ☐ ☒ ☒ ☐ ☐ ☒ (高齢者、障がい者)
 ＜子どもの対象年齢＞ 歳～ 歳

年度	予算	決算(見込み)	事業実績	課題・改善点・対応方針等
22	0千円	0千円		
23	0千円	千円		

施策管理シート

【章】	5 安全安心な生活環境の整備
【基本目標】	子どもを犯罪や事故から守るとともに、子育て家庭が安心して外出できるよう、子育てバリアフリーを推進します。
【施策群名】	5-2 子どもを取り巻く生活環境の整備
【施策名】	506 子育て家庭に配慮した市営住宅等の整備 【重点施策】□
【現状と課題】	平成21年度当初における市営住宅の管理戸数は2,222戸となりました。平成20年度の応募倍率は約6倍(実質倍率3倍)と年々低下してきているものの、民間に比較して家賃が低廉なため入居希望者が多いほか、高齢者や母子世帯なども優先対象として取り扱っていることから、子育て世帯への供給が十分には確保できていません。また、優先対象が多子世帯であるため、対象者が少なくなっています。 老朽化した市営住宅の安全性と質的向上のため、建て替え等の整備を検討する中で、子育て世帯に対しては、安心して子どもを育てられる居住環境の整備が必要となっています。
【施策の目標】	市営住宅への入居にあたり、子育て世帯の優先入居制度を導入して、子育て世帯を支援します。 また、老朽化した市営住宅の計画的な建て替えを行い、安全性と質的向上を進めるとともに、子育てに配慮した居住環境の整備を進めます。
【対応】	多子世帯に対する抽選倍率の優遇や、子育て世帯に対する戸数枠設定による優遇措置などの制度を導入します。 平成22年度に「(仮)秋田市住生活基本計画」を策定する中で、市営住宅の安全性と質的向上を図るための整備手法を検討するとともに、子育て世帯が安心して子どもを育てられる広さや設備等の居住環境について検討します。
【施策の目標指標】	〈指標〉 入居申請の適正な処理 〈20年度実績値〉 多子世帯の申込4件(入居実績0件) 〈26年度目標値〉 入居申請の適正な処理
【主管課所室】	554000 都市整備部 30住宅整備課
【関係課所室】	

取組・事業検証シート

【部局課所室】 554000 都市整備部 30住宅整備課

【取組・事業No.】 5061 【取組・事業名】 既設市営住宅建替事業

【事業概要】 老朽化した住宅の建替を年次計画により実施し、市営住宅の質の向上を図るとともに、小規模団地の統廃合を行い、より効率的な住宅供給を行う。また、ファミリー向けの住宅を中心に、高齢化や少子化に対応した多様な世帯を考慮した様々なタイプの住宅の供給を行う。

【事業の目標】 平成19年度から新屋比内町市営住宅建替事業に着手しており、平成22年度に共同施設(集会所、児童遊園、駐車場)の完成で事業が完了する予定です。
平成22年度には(仮)秋田市住生活基本計画を策定しますが、この中で改修または建替を行わなければならない団地の整備手法を検討します。
平成23年度以降は、これを基に整備を推進し市営住宅の安全性と質の向上を図ります。

【事業の目標指標】 <指標> 既設市営住宅の建替整備戸数 <20年度実績値> 130戸 <26年度目標値> 260戸

【関係HP】 <http://www.city.akita.akita.jp/city/cs/hs/hinai-tatekae/default.htm>

【実施計画】

年度	事業費	目標指標の推移見込み	実施内容
■ 22	182,588 千円	260戸	新屋比内町市営住宅共同施設(集会所、児童遊園、駐車場)の完成買取。 (仮)秋田市住生活基本計画を策定(建替等を行わなければならない団地の整備手法を検討)
□ 23	千円		(仮)秋田市住生活基本計画に基づき整備を推進
□ 24	千円		(仮)秋田市住生活基本計画に基づき整備を推進
□ 25	千円		(仮)秋田市住生活基本計画に基づき整備を推進
□ 26	千円		(仮)秋田市住生活基本計画に基づき整備を推進

【事業対象の区分】 子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分
☒ ☒ ☐ ☐ ☒ ☒ ☐ ()
 <子どもの対象年齢> 0 歳 ~ 17 歳

年度	予算	決算(見込み)	事業実績	課題・改善点・対応方針等
22	187,588千円	182,588千円	共同施設(集会所、児童遊園、駐車場等)完成買取	平成22年度をもって、新屋比内町市営住宅建替事業が完了。 今後、耐用年数が超過する市営住宅の建替え方針を検討する。
23	千円	千円		

取組・事業検証シート

【部局課所室】 554000 都市整備部 30住宅整備課

【取組・事業No.】 5062 【取組・事業名】 市営住宅優先入居制度

【事業概要】 市営住宅への入居にあたり、子育て世帯が入居しやすい制度を導入して、子育て世帯を支援する。

【事業の目標】 多子世帯に対する抽選倍率の優遇や、子育て世帯に対する戸数枠設定による優遇措置などの制度を導入する。

【事業の目標指標】 <指標> 入居申請の適正な処理 <20年度実績値> 多子世帯の申込4件(入居実績0件) <26年度目標値> 入居申請の適正な処理

【関係HP】 <http://www.city.akita.akita.jp/city/cs/hs/default.htm>

年度	事業費	目標指標の推移見込み	実施内容
■ 22	0 千円	入居申請の適正な処理	子育て世帯の優先入居の実施
■ 23	0 千円	入居申請の適正な処理	子育て世帯の優先入居の実施
■ 24	0 千円	入居申請の適正な処理	子育て世帯の優先入居の実施
■ 25	0 千円	入居申請の適正な処理	子育て世帯の優先入居の実施
■ 26	0 千円	入居申請の適正な処理	子育て世帯の優先入居の実施

【事業対象の区分】 子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分
☒ ☐ ☐ ☐ ☒ ☒ ☐ ()
 <子どもの対象年齢> 0 歳～ 17 歳

年度	予算	決算(見込み)	事業実績	課題・改善点・対応方針等
22	0千円	0千円		平成22年3月に新屋比内町市営住宅で子育て世帯優先枠30戸を募集し全戸入居した。
23	0千円	千円		